

平成20年度決算  
バランスシート  
行政コスト計算書  
(総務省方式による財務諸表)

平成21年11月

白老町総務財政部財政税務課

## 平成20年度決算 バランスシート及び行政コスト計算書の概要

### ◎全体の概要

当町では、平成20年度普通会計の貸借対照表（バランスシート）及び民間の損益計算書に当たる行政コスト計算書と全会計による連結バランスシートをまとめた。

- ・普通会計のバランスシートでは、資産合計が約345億円、負債は約192億円で、町民1人当たり換算すると、資産は約171万6千円、負債は約95万6千円。資産は対前年度比2.6%の増であり、負債は対前年度比3.2%の増となった。
- ・普通会計の行政コスト計算書では、行政コストは約88億円、収入と正味資産国庫（道）支出金償却額の合計は約86億円、差し引き約2億円のマイナスとなった。町民1人当たりの行政コストは、約44万円となった。行政コストは対前年度比4.3%の増、収入と正味資産国庫（道）支出金償却額の合計は対前年度比5.2%の増となった。
- ・連結バランスシートでは、資産合計が約593億円、負債は約342億円で町民1人当たり換算すると、資産は約294万7千円、負債は約170万3千円となった。
- ・港湾事業など国直轄事業において、町以外の資産形成のために支出した負担金等は、平成20年度は約4億円であり、これまでの累計額は約203億円となっている。なお、この負担金等はバランスシート上の資産には計上されない。

### ◎普通会計バランスシートについて

普通会計のバランスシートは、国の統一基準を平成20年度の決算状況に適用して作成した。一般会計と墓園事業会計、学校給食事業会計を含めた3会計が該当する。平成20年度の資産合計は、前年度比約8億6千万円の増加。うち有形固定資産の合計は約309億6千万円で前年度と比べて約5億円増えた。バイオマス燃料化施設の建設等、普通建設事業量の増加によるものである。また、投資等は、前年度比約3億3千万円増加し、約27億1千万円。流動資産は、財政調

整基金を取崩したものの、歳計現金の増などにより、前年度比約3千万円の増加となった。

一方負債合計は、前年度比約5億9千万円の増加となった。固定負債は、水道会計からの借入等により、前年度比約5億9千万円増の約178億円。地方債の平成21年度償還予定額となる流動負債は、約14億2千万円で前年度とほぼ同額である。

平成20年度は、資産で対前年比2.6%増えたのに対し、負債は対前年比3.2%増え、資本金である正味資産は対前年比で1.8%増加した。

### ◎普通会計行政コスト計算書について

普通会計の行政コスト計算書についても、国の統一基準を平成20年度の決算状況に適用して作成した。平成20年度の行政コストの合計は、前年度比約2億5千万円の増加。このうち人にかかるコストの人件費は、約16億円で前年度と比べ約4億円減った。物にかかるコストは、約25億8千万円で前年度と比べて約1千万円の減となった。移転支出的なコストでは、繰出金の増加により、約42億3千万円で前年度と比べて約10億円の増となった。また、その他にかかるコストでは、対前年度比で約3千万円の減となった。

一方、収入と正味資産の国庫（道）支出金償却額の合計（調整額含む。）は、前年度比約4億2千万円の増加。収入では国・道支出金の増加などにより、約4億円増の約81億7千万円。資産の減価償却に伴い併せて償却する正味資産国庫（道）支出金の償却額は、4億6千万円で前年度比で約3千万円増となった。調整額は、物品寄付額の計上や貸付金残高等の修正に伴う影響額を調整するものである。

行政コスト合計から収入と正味資産国庫（道）支出金償却額の合計（調整額含む。）を差し引いた差引一般財源等増減額は約1億8千万円のマイナスで、対前年度比では約1億7千万円の増加になった。本年度においても、その年度の行政コストがその年の収入より超過しており、超過分はバランスシートの正味資産から補てんしていることになる。

### ◎連結バランスシートについて

連結バランスシートは、上記同様国の統一基準を平成20年度の決算状況に適用して作成した。対象は、普通会計の他、水道事業及び病院事業の2企業会計と国民健康保険事業、下水道事業などの9特別会計を連結させたものである。

企業会計については、既存のバランスシートの数値を用い、特別会計は普通会計と同様の考え方にに基づきそれぞれ作成している。また、連結において純計を算出するため、公営企業会計に対する出資金約17億円を相殺している。資産の部の退職手当組合積立金及び負債の部の退職給与引当金については、普通会計のほか他会計についても在職職員数に応じてそれぞれ計上している。平成20年度の資産合計約592億7千万円は、前年度比約8億8千万円の増加。うち有形固定資産の合計は約560億3千万円で前年度と比べて約3億6千万円増えた。また、投資等は、前年度比約8億4千万円増加し、約16億7千万円。流動資産は、前年度比約3億1千万円減少し、約15億7千万円となった。

一方負債合計は、前年度から約5億5千万円減少し、約342億円。固定負債は、前年度比約8億7千万円増の約299億5千万円。地方債の平成21年度償還予定額と翌年度繰上充用金からなる流動負債は、約42億9千万円で前年度比約14億円減った。

平成20年度は、資産では対前年比1.5%増加したのに対し、負債で対前年比1.6%減少していることから、資本金である正味資産が対前年比で1.5%増えた。

# 目 次

I	普通会計バランスシート	1
	・普通会計バランスシート（平成21年3月31日現在）	3
	・普通会計バランスシート前年度比較表	4
	・有形固定資産明細表	6
	・国・道支出金算出表	7
	・普通建設事業費に係る補助金・負担金の状況	8
	・補助金・負担金等計算表	8
	・土地明細表	8
II	行政コスト計算書	9
	・普通会計行政コスト計算書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）	12
	・普通会計行政コスト計算書前年度比較表	14
III	連結バランスシート	15
	・連結バランスシート（平成21年3月31日現在）	16
	・会計別連結バランスシート（平成21年3月31日現在）	18
	・連結バランスシート前年度比較表	20